

卓越憲章

ビジョンとホリスティック教育の 10 の柱



卓越性の遺産、未来へのビジョン
カップルダンススポーツへの現代的視点

ビジョン

スポーツ組織はますます深い変革を経験しており、従来の組織モデルの限界も、より明確に表れています。

深い伝統、制度的承認、国際的影響力、強固な組織構造はいずれも根本的な価値です。しかし今日、それだけでは未来を築くには十分ではありません。

現代のスポーツ組織には、伝える力、人を引きつける力、信頼関係を築く力、革新を促す力、そして何より、人々の才能と関心を参加、成長、価値へと変える力が必要です。

この視点から、**IDSF Heritage** モデルは誕生し、発展を続けています。

このモデルは、明確な認識に基づいています。カップルダンススポーツの遺産は、単に保存されるだけでなく、高められ、研究され、伝えられ、未来に向けて発展しなければならないという認識です。

私たちの目標は、カップルダンススポーツの偉大な伝統が持つ卓越性を、現代的な運営、コミュニケーション、科学、国際的ビジョンと結びつけることです。

伝統か革新かを選ぶことはありません。

伝統こそが革新の基盤でなければならない、という確信です。

卓越性からコミュニティへ

現代の組織は、選手登録、大会開催、制度運営だけにとどまることはできません。

コミュニティを築かなければなりません。

耳を傾け、伝え、人を巻き込み、真の帰属意識を育てる力が必要です。

選手、カップル、専門家、技術者、スクールは、組織制度の単なる構成要素ではなく、ダンス文化、質、成長を基盤とする国際的コミュニティの主役でなければなりません。

この観点から、制度的承認、ネットワークの広がり、エンゲージメント、忠誠度、教育への転換力という 5 つの戦略的領域について、国際ダンススポーツの主要な基準組織を比較分析しました。**IDSF Heritage** モデルの総合平均評価は **7.8/10** で、比較対象の中で最高でした。

しかし、最も重要なのは最終スコアそのものではありません。

重要なのは、各要素の組み合わせです。

エンゲージメント、忠誠度、教育への転換についての評価は、明確な方向を示しています。

人と人との関係を発展の原動力とする組織を築くこと。

強いコミュニティは、ネットワークの規模だけから生まれるものではありません。

それは、組織が築くことのできる関係の質から生まれます。

芸術に奉仕するマネジメント

現代的な運営について語ることは、ダンスをビジネスに変えることではありません。

現代の組織を発展させるための手段を、ダンスのために活用するということです。

戦略、コミュニケーション、教育、研究、分析、テクノロジー、ブランド構築、コミュニティとの関係、そして未来を設計する力。

技術とマネジメントが芸術に取って代わるべきではありません。

芸術がその可能性を最大限に発揮できるよう支えるべきです。

したがって、近代化とは伝統を乗り越えたり、捨てたりすることではありません。

新しい手段を用いて、伝統が生み出した最も貴重なものを守り、発展させることです。

偉大な競技は、保存されるだけでは十分ではありません。

理解され、高められ、研究され、未来へ導かれなければなりません。

選手を中心に

IDSF Heritage のビジョンの中心には、根本的な信念があります。

競技にとって最も重要な遺産は、その競技を生き、体現し、発展させ続ける人々です。

したがって、選手を単なる演技者や競技者として見るべきではありません。

彼らは成長し続ける一人の人間です。

アスリートです。

アーティストです。

カップルの一員です。

表現者です。

成長過程にある専門家です。

そして何より、自らの成長の歩みの主役です。

カップルダンススポーツの卓越性は、才能だけから生まれるものではありません。

それは、成長過程の質、知識、規律、自己認識、そして多様な能力の統合から生まれます。

IDSF Heritage の教育体系は、この理念から生まれました。

卓越性のためのホリスティック教育

IDSF Heritage は、選手をあらゆる側面から支える、総合的、科学的、学際的な教育モデルを提案します。

技術。

身体。

精神。

芸術。

科学。

カップルの関係。

価値観。

目的は、選手が一つの動作をより効率よく行えるよう訓練することだけではありません。

自らの身体を理解し、可能性を引き出し、個性を表現し、技術をより高い芸術表現へ変えられる人を育てることです。

こうして卓越性は、体系的で意識的な発展の歩みから生まれる成果となります。

IDSF Heritage のホリスティック教育を構成する 10 の柱は、このビジョンから生まれました。

ホリスティック教育の 10 の柱

1. 技術教育

動きの完成を追求する

技術は卓越性の基盤です。

スタンダードとラテンアメリカンを深く学ぶことにより、選手は動き、身体のコントロール、バランス、協調性、姿勢、コネクションの基本原則を身につけます。

この教育体系が育てるものは次のとおりです。

- 動きの正確さと効率性。
- 姿勢の質。
- 身体のコントロール。
- バランスと協調性。
- コネクションの質。
- 動作を完結させる優雅さ。
- 技術を表現へ変える能力。

技術は単なる技能ではありません。
ダンス芸術に形を与える言語です。

2. 科学研究と革新

知識をパフォーマンスに生かす

偉大な指導者の伝統と、最先端の方法がここで出会います。

IDSF Heritage は、科学研究を現代の選手のパフォーマンスを理解し発展させるための基本的な手段と考えています。

動作のバイオメカニクス

カップルの姿勢、バランス、重心移動、身体のダイナミクスを分析し、技術動作の効率を最大限に高めます。

スポーツパフォーマンス科学

高水準のパフォーマンスを決定する要因と、技術、身体能力、芸術表現の関係を研究します。

神経科学と運動学習

動作、知覚、協調性、運動記憶に関わる認知過程を研究し、学習過程を最適化します。

テクノロジーとデータ分析

映像分析とデジタルツールを活用してパフォーマンスを監視し、改善点を見だし、より個別化された発展計画を構築します。

科学は経験に取って代わるものではありません。

経験を、より明確で意識的なものにします。

3. エリートフィジカルトレーニング

アスリートの身体をつくる

身体は、技術と芸術をパフォーマンスへ変えるための道具です。

この教育体系には、次の能力の向上が含まれます。

- 筋力。
- 持久力。
- 柔軟性。
- バランス。
- 神経筋コントロール。
- ダンススポーツに特有の身体能力。
- トレーニング負荷の管理。
- 傷害予防戦略。

卓越性を目指す選手には、技術と芸術の最高の表現を支えられる身体が必要です。

4. テスト、評価、モニタリング

測ることのできる成長

卓越性には、自己認識と継続的な向上が必要です。

そのため IDSF Fondazione Heritage は、選手を理解し、その成長を支える評価体系を構築します。

この体系には、次の項目が含まれます。

- 身体・機能テスト。
- 技術パフォーマンスと競技の分析。
- 個人およびカップルの発展のモニタリングと選考評価。
- トレーニング負荷の評価。
- 回復状態の分析。
- 専門的な研修活動。
- 個別の向上プログラム。

測定そのものが目的ではありません。

選手をより総合的に理解し、その発展の道筋を導くための手段です。

5. 健康、予防、競技人生の長期的発展

長期にわたり選手を支える

高水準の選手の発展には、人間そのものへの配慮が伴わなければなりません。

目的は、パフォーマンスの頂点に到達することだけではありません。

堅固で持続可能な、長いキャリアを築くことです。

この体系が重視するのは次の項目です。

- 傷害予防。
- 身体的不均衡の分析。
- 回復戦略。
- 身体ケアの教育。
- 意識的なトレーニング負荷管理。
- 専門家との連携。

卓越性は結果だけで測ることはできません。

長期にわたって高水準を維持する能力にも表れます。

6. メンタルトレーニング

精神の強さを育てる

最高のパフォーマンスは、身体的準備と精神的準備の統合から生まれます。

選手は、次の分野で支援を受けます。

- 集中力。
- 自己認識。
- 競技のプレッシャーへの対処。
- 自らの能力への自信。
- 心理的な回復力。
- 精神的規律。
- エリート選手としての思考様式。

精神は、可能性を成果へ変えるための重要な要素です。

7. 芸術、文化、解釈

技術を超えて

カップルダンススポーツは、技術的なスポーツであると同時に芸術形式でもあります。

したがって、教育は動作を完成させることだけで終わってはなりません。

解釈し、伝え、観客の心を動かす能力を育てなければなりません。

この体系には次の項目が含まれます。

- 音楽性。
- 解釈力。
- 表現力。
- 動きの文化。
- 芸術的感性。
- 個人のスタイルの発展。

技術は動きを可能にします。

芸術は感情を心に残します。

8. カップル

個人の選手を超えた新しいアイデンティティ

ダンススポーツは、二人の関係から生まれます。

卓越したカップルは、二人の高水準の選手を組み合わせただけのものではありません。

一つの新しい統合されたアイデンティティです。

そのため IDSF Heritage は、次の能力を育てます。

- パートナー間のコネクション。
- カップル内の効果的なコミュニケーション。
- 相互の信頼。
- 互いに耳を傾け、理解する力。
- 個性と一体性のバランス。
- カップルとしての技術的アイデンティティの構築。
- カップルとしての芸術的アイデンティティの構築。
- 明確で安定したカップルのアイデンティティの構築。

偉大なカップルは、二人の選手を足し合わせただけのものではありません。

一つの新しい表現形式です。

9. 文化、価値観、選手の成長

演技者を超えた人間

卓越した選手は、何よりもまず一人の完成された人間です。

IDSF Fondazione Heritage の教育体系が育むものは次のとおりです。

- 規律。
- 責任。
- 敬意。
- 質を重んじる文化。
- 自己認識。
- スポーツ倫理。
- 継続的な向上への絶え間ない探求。
- 誠実さとアスリートとしての生き方

教育が重視するのは、選手に何ができるかだけではありません。

選手が何を体現するかも含まれます。

競技の真の遺産は、チャンピオンだけで構成されるものではありません。

チャンピオンが次世代へ伝えられる価値観によっても構成されます。

10. リーダーシップ、プロフェッショナリズム、継承

競技の未来を担う主役になる

卓越した選手は、競技のためだけに準備すればよいではありません。

競技を代表し、責任を担い、知識を伝え、時とともに競技の発展を促す積極的な力となる準備も必要です。

この体系が育てるものは次のとおりです。

- 個人のリーダーシップ。
- コミュニケーション能力。
- プロフェッショナリズム。
- 自らの役割への認識。
- 競技の価値観を体現する能力。
- 知識を伝える文化。
- 次世代への責任。
- 遺産を残す能力。

最終的な目標は、単に一人のチャンピオンを育てることではありません。

競技の遺産の一部となり、その未来に貢献できる人を育てることです。

完全に統合されたモデル

10 の柱は、互いに切り離された発展の道ではありません。

一つの体系を構成する要素です。

それらはともに、あらゆる側面が選手の成長に貢献する発展の道筋を築きます。

技術は科学と対話します。

フィジカルトレーニングはパフォーマンスを支えます。

精神はプレッシャーを制御します。

芸術は動きを表現へ変えます。

カップルは二人の個人を、一つの新しい統合されたアイデンティティへ変えます。

価値観は、この歩みに意味を与えます。

リーダーシップは、個人の経験を競技全体への責任へ変えます。

この統合こそが、IDSF Fondazione Heritage のホリスティック教育の核心です。

未来となるビジョン

IDSF Fondazione Heritage は、伝統と発展、スポーツと芸術、科学と革新、個人とコミュニティが出会うところから生まれました。

カップルダンススポーツの遺産は、単に保存されるだけではありません。

研究され、高められ、伝えられ、発展し続けます。

選手は常に中心にいます。一人の人間として、アスリートとして、アーティストとして、カップルの一員として、そして競技の未来を守る者として。

10 の柱は、このビジョンを現実にするための発展の道筋です。

遺産から知識へ。

知識から教育へ。

教育から卓越性へ。

卓越性から未来へ。

IDSF HERITAGE

卓越性の遺産。

未来へのビジョン。